アースくん新聞

夏休み特別号

2013年8月28日

眞仁田敬

マンホールってなにっ!?

マンホールとは「Man：人／Hole：穴」ということで、地下の配管点検やバルブの調整作業のために人が入って作業をするための穴です。

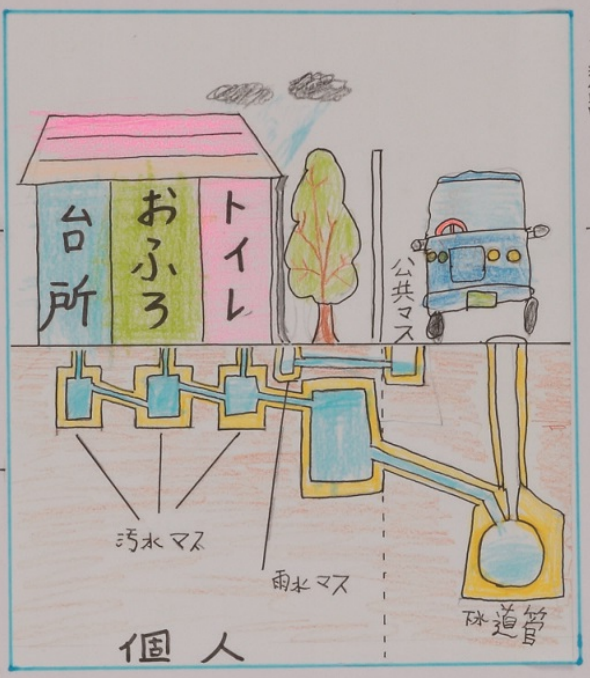
マンホールの下を通っている下水道の下水は、どこから流れてくるのかを調べました。

【汚水】家庭などの建物から出た汚れたれのことで、家庭の排水管から下水道管に流れる。

【雨水】道路にふった雨水が、雨水マスを通り下水道管に流れます。

今は汚水も雨水も道路の下の下水道管でいっしょになり、水再生センターに流れて行きます。そこできれいにして、川や海に流したり、トイレなどの水に再利用されたりしています。

これまでは、右の図のような合流式がほとんどでしたが、最近はかんきょう問題なども考えられ、分流式（汚水は水再生センターへ、雨水は河川へ）の設備が進められています。



今回の調査で、ぼくは平成十三年四月から下水道マンホールのふたが一部変わったことを知りました。

新しいマンホールには文字キャップがあります。これは都民からの通報の特定や取りかえ時期の管理に役立つそうです。

ぼくは右の地図を作成し、マンホールが柿の木坂の顔にみえ愛着がわきました。

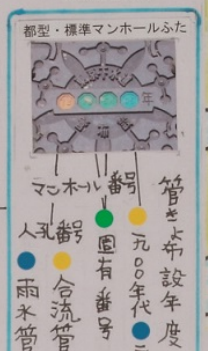
また、目黒川の近くに「東京府」時代のマンホールが残っていることを知り、家族で探しに行きました。七十年前のマンホールを見てぼくは、東京都のれきしを勉強してみたくなりました。

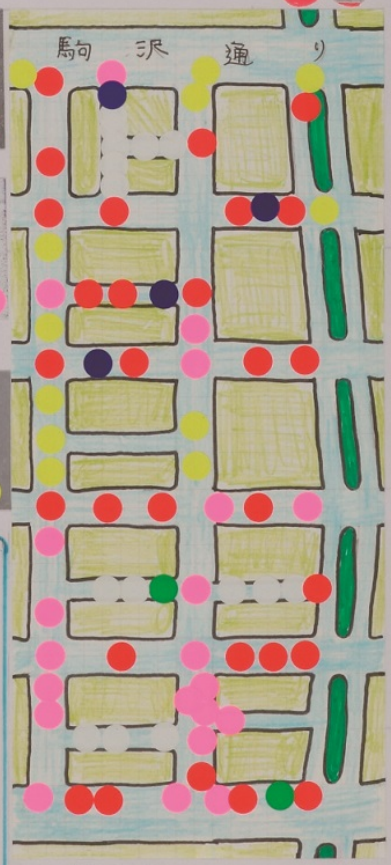
下水道は、ぼくたちの生活に必要なもので、自然かんきょうを守っていることがわかりました。

平成3年まで

平成4年から
平成13年まで

平成13年から





平成3年まで

平成4年から
平成13年まで

平成13年から

アースくん新聞、夏休み特別号。特は貝ぼ集ございました。たくさんのご応ぼありがとう。

今回は、目黒区柿の木坂にお住まいの眞仁田敬くんがアースくんといっしょに、下水道マンホール調査をしました。